

統合準備ニュース 第1号

～地域の担い手となる 子どもたちの未来を見つめて～

2013.9 発行

編集発行: 統合準備委員会事務局
問合せ先: 仙台市教育委員会
学校規模適正化推進室
TEL: 214-8432 FAX: 264-4428
Mail: kyo019031@city.sendai.jp

貝森小と国見小の統合準備が始まりました

第1回統合準備委員会開催

平成25年9月5日(木)、貝森小と国見小の統合準備を円滑に進めるため、第1回統合準備委員会が開催され、両校の教職員・保護者・地域関係者・教育委員会の代表による協議がスタートしました。



統合準備委員会設置までの経過



○教育委員会では、子どもたちのより豊かな成長と新たな可能性を広げるために、20年8月「仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた基本方針」と「同実施方針」を策定しました。貝森小については、全学年1学級であり、かつ将来的にも児童数の減少が見込まれましたことから、子どもたちの教育環境を整えるため、24年8月から貝森小の保護者・地域の皆様と「貝森小学校地域懇談会」を設置して、貝森小の存続・統合についての協議を進めてきました。

○地域懇談会では「より良い教育環境の実現」「学校と地域コミュニティ」などをテーマとして「貝森小が存続した場合」と「国見小と統合した場合」の子どもたちの教育環境の変化も想定しながら、協議を重ねました。その中で「学習、生活両面できめ細かな対応ができる小規模校のよさを大切にしてほしい」「存続した場合、今後も小規模の状態が続くと思うので、何らかの手立てが必要」「クラス替えができ、より多くの友だちとかかわれる学校で子どもたちには学んでほしい」「統合しても貝ヶ森地域と子どもたちのつながりは変わらない」などの意見が出されました。

○25年6月までこのような協議を積み重ね、「貝森小は良い環境であるが、子どもたちにはより多くの友だち、仲間とのかかわり合いを通して様々な経験をしてほしい」という思いから、懇談会として「貝森小は国見小と統合する」という結論にまとまり協議を終了しました。これを受け、国見小との統合に向けた準備を進めるため、今回、統合準備委員会が設置されました。



統合準備委員会委員（敬称略）

※委員の互選により◎委員長・○委員長代理を選出

◎深堀 道哉（貝森小校長）
○熊本 清孝（国見小校長）
曳地 敏明（貝森小教頭）
堤 由美（国見小教頭）
若松 進（貝森小PTA会長）
橋本 朋美（貝森小PTA副会長）
日向野 泰子（貝森小PTA会計）
門澤 崇（国見小PTA会長）
木戸 文江（国見小PTA副会長）
直町 麻里（国見小PTA副会長）

千葉 賢吾（貝ヶ森地区連合町内会長）
鈴木 康義（貝ヶ森地区連合町内会副会長）
千葉 詔市（貝ヶ森地区連合町内会副会長）
千田 文彦（国見地区連合町内会長）
二階堂 軍治（国見地区連合町内会副会長）
吉澤 秀晃（国見地区連合町内会副会長）
相坂 弘（貝ヶ森学区民体育振興会長）
赤平 征雄（国見学区民体育振興会長）
福田 洋之（教育委員会事務局総務企画部長）

第1回統合準備委員会の概要をお知らせします

統合準備体制とスケジュール

両校の教職員・保護者・地域関係者・教育委員会の代表による「統合準備委員会」、両校教職員による「両校合同会議」、教育委員会関係課による「庁内対応チーム」の3つの会議を設置し、下記のスケジュールで進めることを確認しました。

※表中の丸囲み数字は会議開催時期と回数の目安です。

会議		25 年度			26 年度		
		9～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
統合準備委員会	団体調整	①	②	③	④	⑤	
		統合に向けた協議項目の調整 (統合時期・校名、通学路と安全確保策 等)				必要に応じて開催	
	①	②	③	④			
	PTA、連合町内会、学区民体育振興会等 団体ごとに調整・話し合い				必要に応じて開催		
両校合同会議		学校運営に関する項目の検討と調整 ※随時開催 (教育目標・教育課程・学校行事、教材・教具・体育着等)					
		児童間交流の計画と実施 (全学年)					
庁内対応チーム		統合に向けた各種手続きの調整と対応 (就学手続き、教職員配置・学級編制 等) ※随時開催					

貝森小・国見小統合

貝森小・国見小統合

統合時期は「平成27年4月」、校名は「国見小」となりました

○統合時期について

教育目標・教育課程・学校行事など学校運営に関する項目の検討や統合に向けた各種手続きの調整を一つ一つ丁寧に行うこと、また、統合後に両校の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう事前に様々な児童間交流を実施することなどから、統合準備には1年以上の期間を要するため、両校の統合時期は「27年4月」として準備することとなりました。

○校名について

貝森小は昭和62年4月に国見小から分離新設されて開校した経緯があり、今回の統合は貝森小が母体校の国見小へ戻るものと捉えられることから、統合後の校名は母体校である「国見小」が望ましいと事務局から提案いたしました。

委員からは「貝ヶ森と国見が仲良くできるよう校名を変えてはどうか」「地域として貝ヶ森がなくなるわけでないのだから国見小のままでよい」「母体校から独立した貝森小が元に戻るという意味で国見小とすべき」といった思いや考えが出され、協議を行った結果、統合後の校名は「国見小」となりました。

※統合時期と校名は、今後の定例教育委員会及び市議会での議決を経て、正式に決定されます。

PTA・学区民体育振興会、連合町内会等の団体調整

PTAや学区民体育振興会は統合に向けて調整を進めます。また、両校の同窓会や地域の子ども会、連合町内会や関係する諸団体については、各団体の実情にあわせて話し合いを行います。必ずしも統合を要するものではありません。

次回開催予定

日時：平成25年11月13日(水) 19:00～
場所：貝ヶ森市民センター 2階 会議室

※取り組み内容はホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索